

## 11/1 楽しく学ぶクラシック音楽講座講義レポート

講義3回目はオーケストラの基本、その歴史のお話でした。

オーケストラの魅力はなんといっても 弦楽器、管楽器、打楽器からなる楽器が一同に活躍する楽団だという事です。

いつも音楽アプリでクラシック音楽を身近に感じてはいましたが、基本を学ぶとコンサート会場に行ってもより親しみを感じることが出来ます。

弦楽器はヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスです。木管楽器はフルート、クラリネット、オーボエ、ファゴット。金管楽器はトランペット、ホルン、トロンボーン、チューバ。打楽器はティンパニ、ドラム、シンバル、トライアングルなど曲によってまちまちになるものです。意外に感じたのはピアノはその中には入っていない事でした。ピアノだけ独立しているのかなと考えてましたが、一緒に演奏する事もあるという位置付けでした。楽器の配置も概ね決まっており、やはりヴァイオリンは最前列で、演奏全体をリードするという花形でした。

オーケストラも歴史と共に変化を遂げて今の形になったようです。いろいろな楽器の音色を分かりやすくかけていただきました。ラヴェル、マーラー、ベートーヴェンの迫力のある名曲はどの曲も聴き入ってしまう素晴らしさでした。

講義のあと帰り道、頭の中ではファンファーレが響いていました。

こまつ市民大学サポーター 原田